

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社教育測定研究所

【サービス名称】

UGUIS.AI

【サービスの支援項目】

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

利用者氏名	利用者ID	学習カテゴリ	問題形式	問題数	練習数	最終学習日
教則 太郎	R7_1_3_29					
教則 二郎	R7_1_1_1	英検'受験	3級Eメール問題	1	3	2025.04.23
教則 花子	R7_1_1_2	英検'受験	3級意見論述問題	11	13	2025.05.21

あなたの解答

I think space exploration is important for scientific research.

There are two reasons for this.

First, people have more knowledge and discover new things.

Second, there may be technological advancement.

For these reasons, I think space exploration is important.

採点結果

総合評価 レベル **4**/5

あなたの解答はレベル4で指摘されたポイントを改善の上のレベルを目指しましょう。

改善のポイント

個別の指摘

語彙 文法

多くの文法間違いがあります。より高い点数を取るためにこれらの文法の間違いを直していきましょう。

代名詞を正しく使きましょう。

例 There is relaxing (X). It is relaxing (O)

AIにチャットで質問

もちろんです！改善するためのヒントをお伝えしますね。単に「技術的進歩がある」と書くよりも、具体例を挙げると、説得力が増します。例えば、「太陽電池の発展に繋がった」など、具体的な技術の例を考えてみましょう。

太陽電池は英語でなんていう？

太陽電池は英語で "solar cells" または "solar panels" と言います。文脈によってどちらかを選んで使ってくださいね。

2026年1月



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要と特徴



英語学習における「指導者の負担増加」や「個別指導の難しさ」などの課題解決のために開発

(1) 導入メリットと類似サービスとの違い

英語学習のうちとくに英作文における採点・添削の負担軽減や生徒のレベルを把握、生徒個別の指導対応を実現。一般的な生成AIとの違いは、検定や入試などの利用シーンに合わせたチューニングを行ったうえでの学習診断や自動作問により繰り返し学習が可能なこと



1. AIで自動作問

英検や大学入試レベルの問題を何度でも生成



2. AI即時フィードバック

解答後すぐに、語い・文法・内容・構成の4つの指標で評価。具体的な改善点がある場でわかる



3. UGUIS先生

フィードバックへの疑問や書き出しのヒント等をAIチャットでいつでも質問でき、学習の理解が深まる

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果



指導者のメリット

- 問題作成や採点・添削の負担を大幅に軽減
- 生徒の学習状況が一目でわかる
- 生徒と向き合う時間を創出、指導の質向上に寄与



学習者のメリット

- 「いつでも、何度でも」挑戦できるAIを利用した実践学習
- AIチャットが初級～上級者までサポート
- 即時フィードバックで継続的な学習を提供

(3) サービスの活用場面

- 英語の授業
- 生徒の自宅での自主学習

(4) サービスあたりの標準販売価格

初期導入費：165,000円(税込) 月額固定費用：11,000円(税込) 1人あたりの月額利用料：979円(税込)

※初期導入費には、管理画面設定、管理者IDの発行、管理者向け説明等、導入に必要な作業が含まれます。

※ご利用料金に通信費は含まれません。

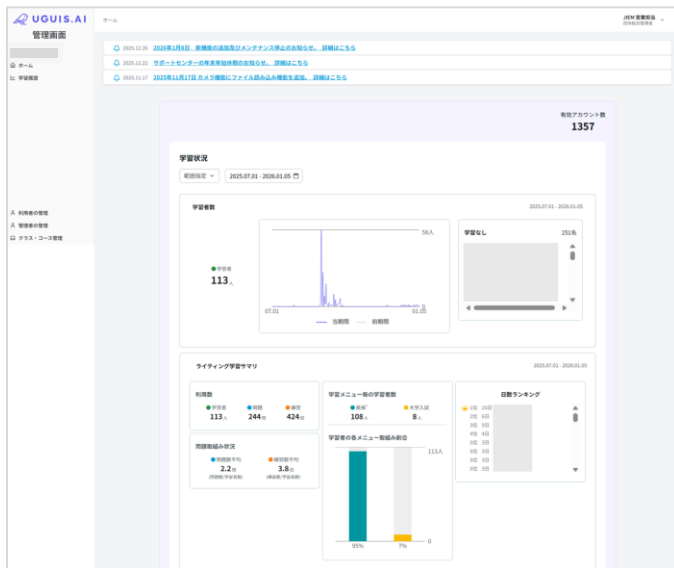
■ 探究・校務改革支援サービスの概要

■ 教員向け管理機能で先生の管理・指導をサポート

生徒一人ひとりの学習状況を可視化し、個々の課題を特定し、生徒の理解度や学習進度に合わせて個別の指導を可能にしている。

学習状況の可視化

クラス全体の進捗、利用状況、未ログイン者を一目で把握



個々の課題を特定

生徒一人ひとりの解答履歴や、語い・文法などのつまずきポイントをデータで確認

指導への注力

採点や結果集計の手間をなくし、データに基づいた的確な声かけや指導に集中できる

The student interface includes the following components:

- 学習履歴一覧 (Learning History List):** A table showing a list of questions with columns for level (準1級), form (要約問題, 意見論述問題), and topic (e.g., Fighting Child Obesity, Do you think Japanese people should be more capable of English conversation?).
- 設問 (Question Detail):** Shows the question text, a 20-minute timer, and instructions: "Write an essay on the given TOPIC. Use TWO of the POINTS below to support your answer. Structure: introduction, main body, and conclusion. Suggested length: 120-150 words." It also lists points: common language, occasion to use, interconnection, and translator.
- 採点結果 (Scoring Results):** A bar chart showing scores for language (語彙), grammar (文法), content (内容), and structure (構成). The overall score is 3/5. A message states: "あなたの解答はレベル3です。善手とするポイントを改善してレベル5を目指しましょう。"
- 改善のポイント (Points for Improvement):** A section with tips for grammar and vocabulary, such as "「another」は単数名詞に使用しますが、ここでは「cultures」が必要です。" and "複数の文化を指すために「father cultures」を使用します。"
- あなたの解答 (Your Answer):** A text area showing the student's response: "It is a highly controversial issue whether or not Japanese people should be more capable of English conversation."

「UGUIS.AI」は、生成AIの活用により、英語教育現場における英語ライティング・スピーキング学習の課題を包括的に解決することを目指している。生成AIによる高品質な自動作問と即時採点機能を提供することで、教員は従来多大な時間を要していた教材作成や添削業務の負担を劇的に軽減。さらに、専用の管理システムによってクラス全体の進捗や個々の生徒の弱点を一目で把握できるため、教員が作業に追われることなく、生徒一人ひとりの状況に応じた質の高い指導に注力できる環境を提供。

「UGUIS.AI」は、教員には「有能な助手」として、生徒には「専属の伴走者」として、教育現場の効率化と学習効果の最大化を両立させるサービスである。

児童生徒・教職員が抱える課題



■ 先生の課題

1. 生徒の学力合わせた指導が困難
2. 生徒個々の弱点の把握が困難
3. 生徒に向き合う時間不足
4. 指導品質の担保の難しさ



■ 生徒の課題

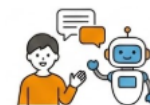
1. 気軽に英作文の学習をすることが困難
2. 正しい回答がわからないことがある
3. 能力に合わせた学習が困難
4. 間違いなどを的確に指摘してほしい

サービスが果たす役割



■ 先生の課題解決

1. 問題の作成/添削の負担を軽減
2. 利用有無・学習履歴・クラス全体進捗など、生徒の到達度・学習状況を把握
3. 生徒に向き合う時間の確保
4. 質の高い指導が可能



■ 生徒の課題解決

1. 時間・場所を選ばず学習可能
2. AIチャットが学習者をサポート
3. 初学者から上級者まで能力にあった学習が可能
4. 即時のフィードバックによる学習の継続性



サービスの活用風景・授業の流れ

英「UGUIS.AI」は、英語の授業において活用され、主な活用の流れは、以下、①～③の順に行われている。



①管理画面の設定 (利用開始準備)

- ・管理者(先生)の登録
- ・クラスの登録
- ・利用者(生徒)の登録





■解決した課題

- ・生徒の英作文の学習状況管理
- ・生徒の弱点を把握

②英語の授業で 利用

- ・UGUIS.AIにログイン
- ・使い方を共有、実際に問題を解く
- ・自宅学習へ誘導





■解決した課題

- ・生徒が作成した英作文を瞬時に添削できる

③自宅学習で利用

- ・生徒が各自、自宅で学習





■解決した課題

- ・生徒の自宅での英作文の学習回数を増やすことができ、かつ回答が瞬時に添削されるため、学習上の疑問がその場で解決できる

④授業で復習・ 振り返り学習

- ・手書きした課題をUGUIS.AIに取り込み、添削する
- ・添削内容を先生と生徒で共有、振り返りを行う



▲授業での利用風景

■解決した課題

- ・生徒の弱点を学習履歴をもとに先生と生徒で共有できる

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	14	学校等教育機関数	15校
---------------	-----------	-----------------	------------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人宮崎カリタス学院	都城聖ドミニコ学園高等学校	宮崎	高等学校	1~3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
2	学校法人前田学園	鹿屋中央高等学校	鹿児島	高等学校	1~3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
3	学校法人聖心学園	檀原学院高等学校	奈良	高等学校	1~3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
4	学校法人朝陽学院	あべの翔学高等学校	大阪	高等学校	1~3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
5	学校法人大阪明星学園	明星中学校	大阪	中学校	1~3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
6	学校法人聖母被昇天学院	アサンプション国際高等学校	大阪	高等学校	1~3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
7	学校法人羽衣学園	羽衣学園高等学校	大阪	高等学校	1~3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
8	学校法人武庫川学院	武庫川女子大学附属高等学校	兵庫	高等学校	1	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	14	学校等教育機関数	15校
--------	----	----------	-----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
9	学校法人帝塚山学園	帝塚山中学校	奈良	中学校	3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
10	学校法人浪商学園	大阪青凌中学校	大阪	中学校	1～3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
11	学校法人浪商学園	大阪青凌高等学校	大阪	高等学校	1～3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
12	学校法人清風南海学園	清風南海中学校	大阪	中学校	3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
13	学校法人創価学園	関西創価高等学校	大阪	高等学校	1	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
14	沖縄県教育委員会	沖縄県立名護高等学校	沖縄	高等学校	1～3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備
15	新潟県教育委員会	新潟県立村上高等学校	新潟	高等学校	1～3	教職員の業務効率化・省力化に支援するサービス／授業・授業準備

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

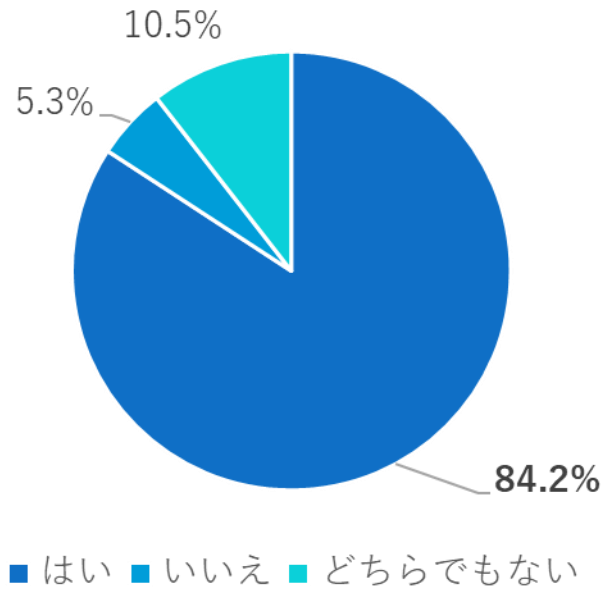
定量的効果検証

本効果報告レポート作成にあたり、サービス導入校の学校担当者にアンケートを実施、25名から回答をいただいた。

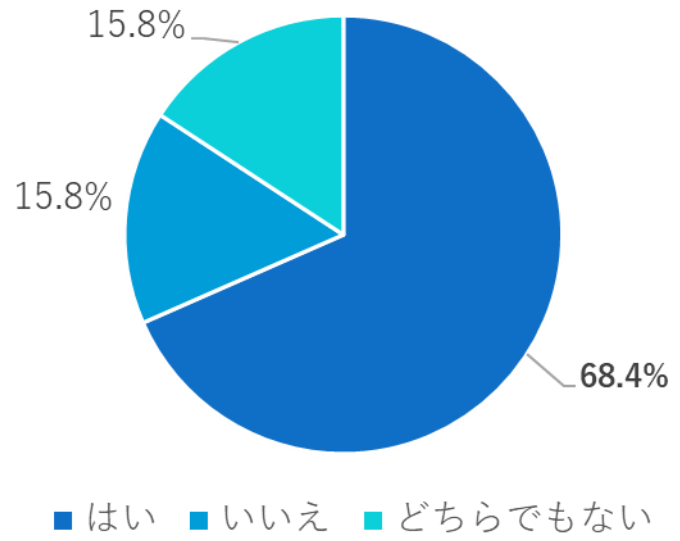
■教員の業務にかかる負担軽減について

80%以上の教員が、英作文指導の場や時間を増やすことができた実感している。
「教員による添削前に生徒自身がUGUIS.AIで添削をするため、教員の負担は軽減された」、「添削時間が3分の1から半分程度に減り、指導時間を倍にできた」、「生徒の書く時間を増やすことができた」などの声が出ており、サービス導入により、英作文指導の時間が増やすことができたようだ。

①英作文指導の場や時間を増やすことができたかどうか



②英作文の添削や採点にかかる時間が減ったかどうか



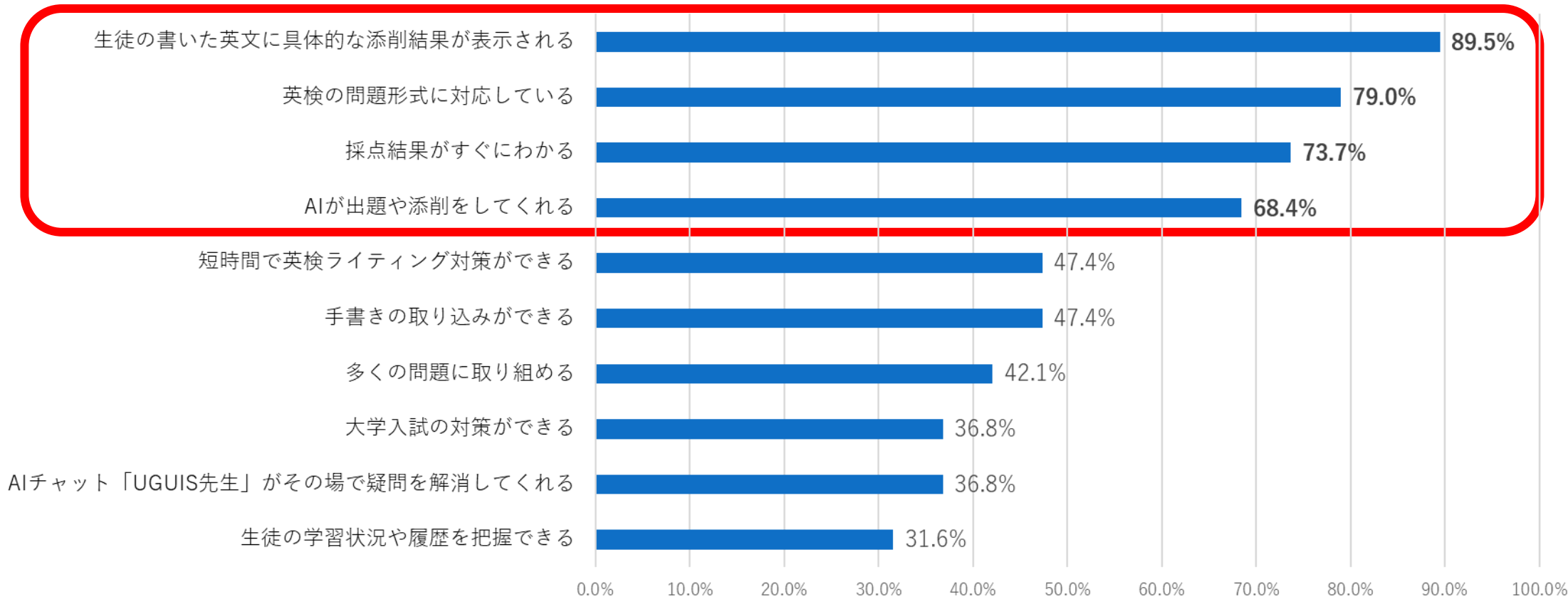
回答者数:25

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

■英作文指導において解決したこと

サービス導入によって、英作文の指導をするにあたり解決できた内容を聞いた。生徒の書いた英文に具体的な添削結果が表示されることや英検対策に活用できること、AIによる出題や結果がすぐわかるなど即時対応している点が、授業等での英作文指導における課題解決につながったと考えられる。



回答者数:25
 ※複数回答可

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

■授業での活用方法における使用者の声

2025年12月20日に、「UGUIS.AI」活用の報告を兼ねたシンポジウム実施。導入校の英語担当教員も登壇し、活用方法や教員、生徒の変化について発表を行った。

【先生の声】

- ・UGUIS.AIは、応答が非常に速く操作性も高いため、授業や業務の中で使いやすい。
- ・日本語で作成した下書きを英訳しても、語彙・文法を即時に評価・修正でき、短時間で添削が完結する点が特長である。
- ・その結果、教員の負担軽減につながる可能性があり、ライティング対策としても有効である。
- ・さらに、手書き入力にも対応している点は大きな利点である

【生徒の声】

- ・自分が普段使ったことがなかったような表現があるのを知り、自分自身のボキャブラリーを増やすことができた
- ・「UGUIS.AI」を用いることで自分では気づけなかったミス指摘し、より良い文や表現を教えてくれるので、入試や論文・記述の点において選択肢を広げてくれる
- ・連想ゲームのようなことをすると様々な書き方が見えてくるとわかった
- ・一文でも様々な書き方ができていおもしろかった。「UGUIS.AI」が知らない表現を教えてくれてよかった

【まとめ】

教員は、迅速な添削や手書き対応により業務負担が大幅に軽減され、指導の効率化を実現できているようだ。一方、生徒側はAIとの対話を通じて、自身のミスへの気づきや未知の語彙・表現を習得できていることがうかがえる。単なる正解確認に留まらず、ゲーム感覚で表現の幅を広げるなど、学習への心理的ハードルを下げ、記述力向上に寄与している点が大きな特徴と言える。

▼12月20日に実施したシンポジウム



教員からのコメント

探究・校務改革支援補助金2025「UGUIS.AI」活用状況確認アンケートより(2025年12月1日～25日)

■劇的な添削時間の短縮と指導内容の質の向上

添削にかかる時間が従来の半分以上や3分の1程度に短縮されました。初期の軽微なミスを確認する時間が減ったことで、教員が内容を深く指導する時間をこれまでの倍に増やすことができたという、効率化が質の向上に直結しました。

■AIならではの多様で具体的なアドバイス

自分では思いつかないような別表現の提案や改善アドバイスが、生徒の新たな学びにつながっています。特に、記号を用いた分かりやすい添削形式や、単なる修正にとどまらない「ベターな案」まで提示される多岐にわたるアドバイスがいいです。

■生徒のライティングに対する心理的ハードルの低下

AIからその場で即座にフィードバックが返ってくることで、生徒の学習への積極性が向上しています。その結果、ライティングに対する抵抗感がなくなり、定期テストなどで白紙の答案が減ったという具体的な変化もありました。

■英検などの資格試験における確かな成果

具体的なスコアの変化として、英検2級のライティングの平均ポイントが上がったり、スコアが伸びている生徒が徐々に増えていると実感しています。何度も要約問題などの課題に取り組める環境が、実力の底上げに寄与しているようです。

■レベルに応じた柔軟な活用と期待

活用場面によって効果に差があり、特に英検2級以上のレベルで高い効果を感じます。一方で、準2級以下の生徒にはAIの提案が難しく感じられる場合もあるため、教員からの講評とAIのアドバイスを組み合わせて提示するなどの工夫をしました。

「UGUIS.AI」の導入により、教員は「熟練の助手」をクラスに招き入れたようなものと捉えており、その助手が基本的なミスのチェックや多様な表現の提案(下地作り)を素早く肩代わりするため、生徒一人ひとりの考え方や表現の深みといった、より本質的な指導に集中できるようになったと言えよう。

管理画面を利用する際に、使いづらい箇所などご指摘いただいたものを順次、機能追加などを行い、修正していった。また、自宅学習への導入はスムーズに行われたが、授業での活用方法に悩まれる先生は多く、先行して活用している先生の情報と共有するなどのサポートを行った。

直面した課題



① 管理画面の利用方法について

- 1. 生徒の一括登録ができない
- 2. 生徒の利用状況などの表示順が変更できない
- 3. 英語添削で学習履歴が確認できない



② 授業での活用方法がわからない

自習や自宅学習への導入はスムーズに行われたものの、授業でどのように活用していくかを悩まれ、ご相談が寄せられた



解決するための改善策



① 管理画面

- 1. 8月ころ機能追加しリリース
- 2. 今後改修し、機能追加予定
- 3. 同上



② 授業での活用方法

「UGUIS.AI」を授業に取り込んでいただいた先生の話と情報共有し、活用いただいた

■会社概要

社名	株式会社教育測定研究所
代表	西田 紀子
設立年月	2001年10月25日
本社	東京都港区港南1丁目8-15 Wビル13階
資本金等	7320万円
売上高等	54億4400万円
従業員数	119名
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・e-Testing/e-Learning事業 「英語コミュニケーション能力判定テストCASEC」を始めとするコンピュータ適応型、かつ項目応答理論を利用したテストおよびe-ラーニング開発・Solution事業 次世代テスト研究・開発。コンサルティングおよびデータ解析業務・Operation Center (OC事業) テストの管理・運用・採点等に関するアウトソーシング事業

■お問い合わせ窓口

担当:山田 達也

電話:090-6482-1662

Mail:tatsuya.yamada@edulab-inc.com